

# 新はつかいち

2013年

8月1日  
第125号  
日本共産党  
佐伯支部

弁護士が相談に応じます

無料生活・法律相談

毎月第2日曜 午前10時

西部地区事務所  
37-0171

仲介は  
大畑美紀  
74-2310

暑中お見舞い  
申し上げます

2013年8月

日本共産党佐伯支部



## 佐伯支所の組織体制

- 1階 市民福祉グループ・環境産業グループ・佐伯管理課（本庁建設部及び環境産業部簡易水道局所属）
- 2階 地積調査課（本庁建設部所属）・地域づくり推進グループ

「課」→「グループ」と変更したことについて「位置づけが低くなったのでは？」と聞くと、総務部長は「一人ひとりの職位が高くなっており、職位が同じ場合、上下が付けられない。グループなら係長級が複数いてもよい。グループ内、グループ間で柔軟に業務・人を動かせる。本庁でも一部取り入れている。」との返答でしたが、支所職員が少なくなり、業務が難しくなるのでは、さらに支所機能が縮小されるのではと心配です。

## 職員給与削減

国が地方交付税削減で強要  
デフレ脱却に逆行

平均4・8%、総額2億3500万円の削減です。市長が「苦渋の決断」と述べているように、国が地方交付税削減という形で、地方公務員給与削減を強要することは許されません。

反対4（植木京子・小泉敏信・藤田俊雄・山本和臣）、賛成多数で可決。  
（敬称略）

## 6月議会報告 6月11~25日

### 反対討論の要旨

植木（日本共産党市議団）

①地方交付税は、地方に代わって国が徴収し合理的基準で再配分するもので、一方的に削減するやり方には市長も議会も抗議すべきだ。②大震災からの復興は最重要課題だが、財源を地方公務員給与削減に頼るのは国の責任放棄である。③購買意欲が低下し、地方経済に与えるマイナス影響が大きい。民間給与にも影響を与える。やるべきは国民所得を増やすことである。  
小泉（フォーラム21）

本来、自治体の労使が対等で決定すべき。地方交付税法の趣旨に反し人権制度も無視する国の暴挙だ。（そのほか植木議員の討論趣旨とほぼ同じ）

### 賛成討論の要旨

栗栖俊泰（成蹊会）

もろ手を挙げて賛成ではない。今回のやり方に問題はあるが、財源に穴が

〇〇課窓



### 補正予算

佐伯地域関係の主なもの

- 玖島地域自立再生緊急対策事業補助金 250万円
- 炭焼き体験の資器材整備費等の補助。にぎわい創出事業補助金 150万円
- 佐伯商工会が取り組む「かかしプロジェクト」等の地域経済活性化事業推進に、事務所費や事務機整備の補助。
- 高規格救急自動車購入費（佐伯分署配備） 事務費含み 3008万2千円
- 佐伯総合スポーツ公園照明灯改修工事請負費 3000万円
- 地籍測量業務委託料追加 287万円

国からの配分調整で追加。中道宇貴兵地区の地籍測量委託料です。今年度は中道・山口県県境まで調査を進める予定。

### 津田中心部道路も地籍調査開始

今年度から約5年かけて、佐伯総合スポーツ公園～支所周辺の道路の地籍調査を行います。下水道整備に先立ち、土地の権利関係を明確にするためです。そのため地籍調査課は2名増員し地籍調査係と道路地籍係の2係体制になっています。



◆9月定例会は9月10日開会予定です。  
本会議、委員会、議員全員協議会の傍聴ができます。

## 参院選 日本共産党8議席

非改選あわせ  
11議席に

選挙結果では「衆参のねじれが解消」といわれますが、消費税増税、原発再稼動、憲法改定、TPP問題、米軍基地問題などの重要課題で、国民多数の声と自民党政府との「ねじれ」は、いっそう深刻になっていきます。日本共産党は、みなさんと力を合わせ、公約実現にがんばります。どうぞよろしくお願いたします。

日本共産党佐伯支部

議席回復  
できました。  
がんばります。



仁比そうへい  
参議院議員

参議院選挙の結果について

## 7月30日 オスプレイ 岩国基地へ搬入強行



米軍垂直離着陸機 MV22 オスプレイ 12機が、市民の抗議の中、岩国基地へ陸揚げされました。米軍普天間基地へ配備される予定です。

また、さらに事故率の高い空軍仕様の CV22 オスプレイの配備もねらわれています。日本のどこにも配備させてはなりません。

# TPP絶対反対

TPP(環太平洋連携協定)「日本の得になるようアメリカと交渉してるんでしょ?」「関税が障壁になっているのでは?」いえいえ、貿易に大きく影響するのは関税率より「為替レート」です。最近の円安の影響をみればよく分かります。関税自主権は、国内産業・国民生活を守るため必要で関税撤廃は日本の主権放棄で

## NAFTA(北米自由貿易協定)そして 米韓FTAを見よ その惨状を

。「困るのは農業くらいでしょう?」TPP交渉で 農業に関する部分はわずかで、21ある作業部会は、暮らし、経済等のあらゆる分野にわたっています。だから農業関係者だけでなく、医師会や弁護士会、女性団体連合会ほか多くの国民・団体が強く反対しているのです。TPPは、一部の輸出企業のため、くらしも日本文化も破壊します。

TPPがわかるおすすめの本

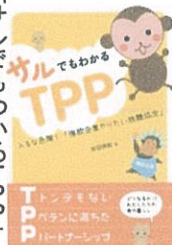
★一問一答が58項目

「亡国最終兵器・TPP問題の真実」  
中野剛志ほか 青林堂



★中野剛志氏はネット動画にも多く登場

「サルでもわかるTPP」  
安田美絵著 合同出版



★全ページカラーでわかりやすい

▼TPPの本当の中身を知りましょう。参考文献は数多く出版されています。「家の光」には毎月TPP解説のページがあります。インターネットでも情報を得られます。

## 市民アンケートに寄せられた改善要望箇所 (県事業関係)について 担当課からの返答

- ①友和橋の片側だけでなく両側に歩道設置を。  
A、必要性は感じていますが、現在のところは、既設の歩道橋を利用してください。
- ②下峠～友和小学校の歩道のないところに歩道整備を。  
A、早期に完成するよう鋭意調整中です。
- ③津田心和住宅出入口の見通しが悪いので改善を。  
A、現地確認しましたが、今すぐに改善する条件は見つかりませんでした。多少の調整は可能と思います。どう見えにくいのか情報をお寄せください。
- ④玖島川上 分校周辺道幅を広くしてほしい。特にカーブのところは運転しづらい。高齢者ばかりで事故があつてからでは遅い。  
A、今のところ整備計画には凍結していますが、部分的な待避所の整備を検討中です。
- ⑤佐伯中学校前交差点 下り線(吉和方面向き)に右折レーンを設けてほしい。毎日午前8時前後渋滞して困っている。  
A、関係部署と調整中です。
- ⑥廿日市佐伯線 明石大曲の改良  
A、改良計画はあります。早期着工に向けて調査調整中です。
- ⑦除草の要望がいくつか寄せられています。  
A、道路交通の支障になるところがあれば、要望をお寄せ下さい。

◆寄せられたご要望の中には、回答が難しいものもありますので、もっとくわしくお知りになりたい方は、大畑美紀までお問い合わせください。



「これでわかるTPP問題一問一答」小倉正行ほか  
合同出版

